


～自分のPCで学ぶデータとクラウドの基本～

2024年度 DX研修会 (全2回)

実機操作でデータスキルをビジネスに活かす

当会では、会員企業のDX推進を支援する一環として、DX推進を担う企業や組織のリーダーを対象に研修会を開催いたします。

DXは、デジタル技術とデータを活用した企業価値の向上や競争力の強化を図る取り組みであり、特にデータサイエンスはその必須の要素です。データから有益な知見を引き出し、ビジネスに役立てることが、DX推進において極めて重要です。これまでは基本的な改革の考え方を中心に研修を提供してまいりましたが、今年度からは内容をさらに拡充し、ビジネス展開に必要なデータ活用方法とデータサイエンスを用いた分析手法を習得するための前編と、ビジネスリーダー向けにデータサイエンスとクラウドの活用方法を学ぶ後編に分けて実施します。データサイエンスが初めての方でも理解しやすいように、分かりやすい語り口で丁寧に解説します。

- 日時 【前編】2024年6月6日(木)09:30~16:30
会場：北海道職業能力開発促進センター 1階大会議室
(札幌市西区二十四軒4条1丁目4番1号)
【後編】2024年10月2日(水)13:30~16:30
会場：株式会社北海道ソフトウェア技術開発機構 (DEOS) 研修室
(札幌市白石区菊水1条3丁目1番5号)
- 対象者 道経連会員企業に勤務する管理職、チームリーダー、一般社員の方
- 定員 25名(先着順)
- 参加費 無料
- 内容 詳細次項
- 注意事項 PC持ち込み可能な方
会社所有のPCの場合は、自社のセキュリティポリシーの確認をお願いします。
- 申込方法 以下フォームよりお申し込みください。
【URL】<https://forms.office.com/r/DMmehMPuVQ> 【二次元コード】

- 申込期限 2024年5月28日(火)
※定員に達し次第、締め切らせていただきます。
※ご参加の可否については、申込締め切り後に、メールアドレス宛てに事務局からご連絡いたします。
- 問合せ先 北海道経済連合会 労働政策局 担当：竹上、高橋
電話：011-251-3592
※事前連絡事項(オンライン開催への切り替え等)がある場合は、担当から受講者様へ直接ご連絡させていただきます。

★内容★

【前編】

<p>テーマ：「データサイエンス入門」 ※北海道職業能力開発促進センター生産性向上支援訓練カリキュラム「DXの推進」活用 講師：学校法人産業能率大学経営管理研究所 主任研究員 福岡宣行（ふくおか のぶゆき）氏 会場：北海道職業能力開発促進センター 1階大会議室 （札幌市西区二十四軒4条1丁目4番1号）</p>
<p>準備：プログラミング言語「R」を事前配布の手順書でインストールしていただきます 会社所有のPCの場合は、自社のセキュリティポリシーを確認し、Rのインストールや利用が許可されているかどうかを確認をお願いします。</p>
<p>概要：データサイエンティストが「どの様な手法を用いて、データから規則を発見しているのか？」「大量のデータを具体的にどのように解析しているのか？」などを解説します。解析ソフトを用い、実際にデータを解析しながら、日常業務でどの様に生かせるか？をグループディスカッションで検討しながら進めます。</p> <ol style="list-style-type: none">1. データサイエンス概論 (1) データサイエンスとは (2) データ解析の流れ (3) データサイエンティストとは2. データリテラシー (1) データマイニングの基礎 …DXへの取り組み状況、身近なDXの事例を考える。 (2) ソフトを使ったデータ解析【演習】 …自社のDX推進指標レベルの確認と取り組み状況を把握する。3. データサイエンスの手法 (1) データマイニングの手法【演習】 …いくつかの演習を交え、より実践的に、考え方や手法を学びます。 (2) 今後に向けて …内容を振り返り、今後に向けた具体的な行動について検討します。導入段階、事前の学習の企業・組織には、具体的な図書やツールについて紹介し、今後の検討材料を提供します。

【後編】

<p>テーマ：(仮)「デジタル時代に中堅層が知っておくべきデータサイエンスとその手法」 ※株式会社北海道ソフトウェア技術開発機構（DEOS）研修のオーダーメイド講座 講師：北海道ソフトウェア技術開発機構（DEOS）講師 富田 良治（とみた よしはる）氏 会場：北海道ソフトウェア技術開発機構（DEOS）第2研修室 （札幌市白石区菊水1条3丁目1番5号）</p>
<p>概要：データ活用の重要性やデータを見る視点を学んだ上で、企業経営や職場の問題解決におけるデータ活用の考え方・取り組み方を、事例演習を通して学びます。</p> <ol style="list-style-type: none">1. ビジネスで役立つ統計の基礎を学びます。2. データを正しく読み取る、加工する評価する手法を学びます。3. 企業経営や職場の問題解決におけるデータ活用の思考フレームワークを学びます。 <p>注) 詳細は、前編終了後に受講結果等を踏まえ再整理し、事前にお伝えします。</p>

★講師紹介★

【前編】

福岡 宣行氏 産業能率大学経営管理研究所戦略・ビジネスモデル研究センター主任研究員

略歴	<ul style="list-style-type: none"> ・2001年東京理科大学工学部卒業 ・2003年東京理科大学大学院理工学研究科修了 ・2003年キャノン株式会社勤務 新製品開発段階のVE推進業務、VE・コスト教育等に従事 ・2011年学校法人産業能率大学入職
主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンス データサイエンス基礎研修・DX時代の次世代リーダー育成ワークショップ 問題解決のデータ活用研修・データドリブン・マネジャー育成研修 ・ビジネススキル研修・階層教育 問題解決基礎研修・QCアプローチによる問題解決実践研修 コストダウン基礎研修・戦略経営シミュレーション研修 ・コンサルティング スキル評価データ分析支援（物流事業等） 統計基礎教育テキスト開発（製造業等） 社内データサイエンス教育プログラム開発支援（製造業等） ・著書「人事業務へのクラスター分析の活用」「プロフィットゴール・マーケティング」他

【後編】

富田 良治氏 TITC 合同会社 代表社員（株北海道ソフトウェア技術開発機構講師）

主な経歴と活動	<ul style="list-style-type: none"> ・1976年千葉県出身、電気通信大学卒。 中小企業診断士、ITストラテジスト、元電気通信大非常勤講（データ分析）。 ・受託開発ソフトウェア業の中小企業にSE/プログラマとして16年間従事した後、IT経営コンサルタントとして独立。 ・「ITとデータのチカラで、人と企業に幸せを。」を経営理念とし、データ活用・IT活用・SNS活用を専門に延べ100社以上の大企業～中小企業のコンサル実績のほか、全国の商工団体で延べ200回以上のセミナー実績がある。 ・割烹料亭、BAR、キッチンカーによる移動販売など複数店舗を運営する中小企業の経営者でもあり、自身の経験に基づく豊富な事例で実践的な講義・演習を実施。 ・株式会社北海道ソフトウェア技術開発機構においては、レギュラー研修講師としてPythonによるデータ分析、機械学習等の講義を担当している。
---------	--

以上